

2023年8月31日

2023年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第10回 9月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (植田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年より多く、平年より少なかった。

前年	2022年8月31日	(7点の平均)	0.5 個/m ³
前回	2023年8月24日	(7点の平均)	3.7 個/m ³
今回	2023年8月31日	(7点の平均)	6.9 個/m ³
			※9月上旬の平年値 8.5 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年より多く、平年より少なかった。

前年	2022年8月31日	(7点の平均)	0.0 尾/m ³
前回	2023年8月24日	(7点の平均)	0.1 尾/m ³
今回	2023年8月31日	(7点の平均)	2.6 尾/m ³
			※9月上旬の平年値 3.2 尾/m ³

○プランクトン調査

定点H4及びH5では、ミジンコ類が優占したが、それ以外の定点では、カイアシ類が優占した。

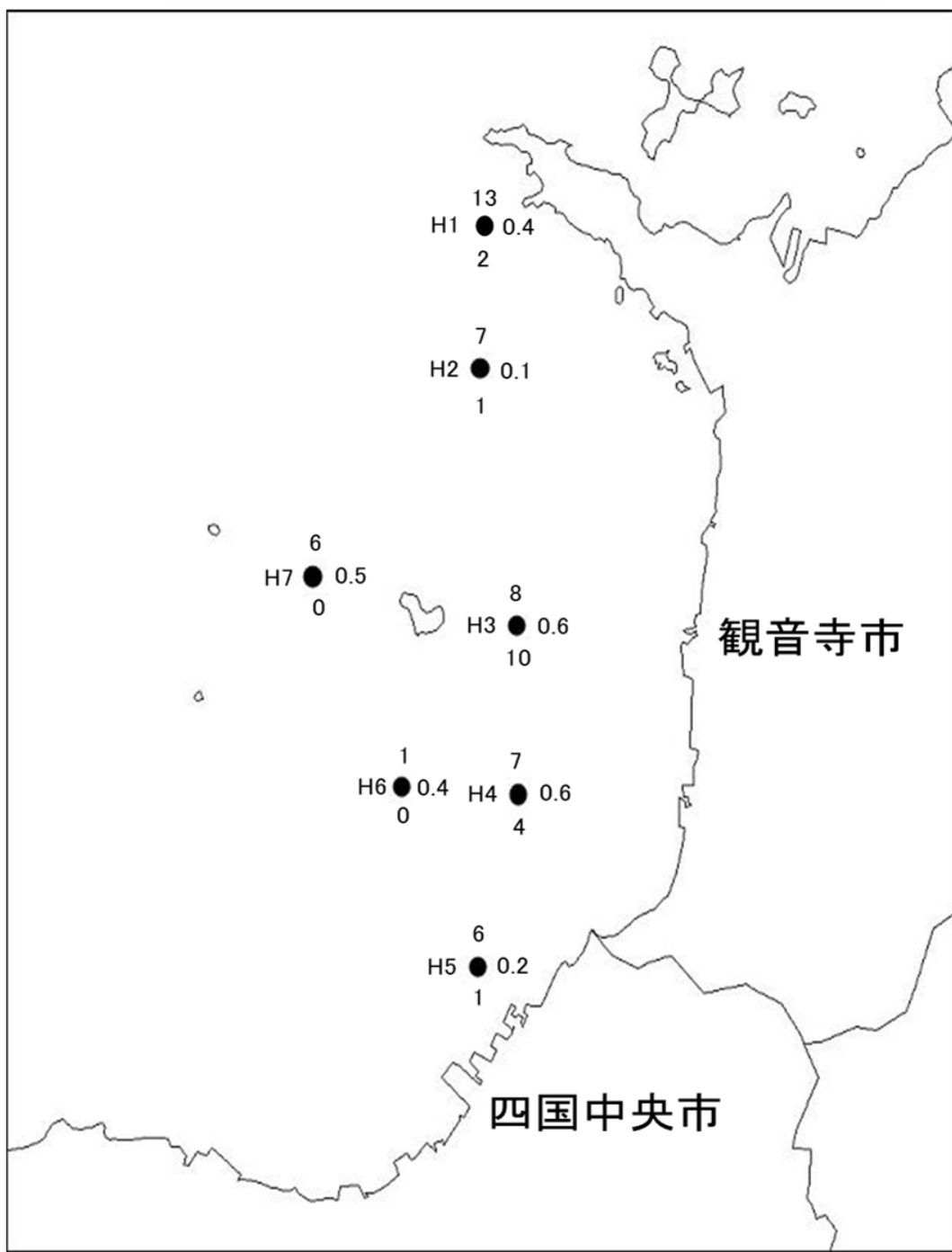
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は、前年より多く、平年より少なかった。

○カブトクラゲ調査

カブトクラゲの出現は無く、前年と同程度であった。

本年度の卵稚仔調査はこれで終了です。

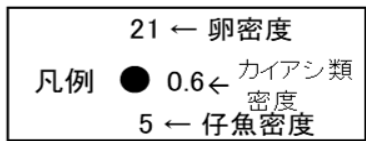
カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2023/8/31)

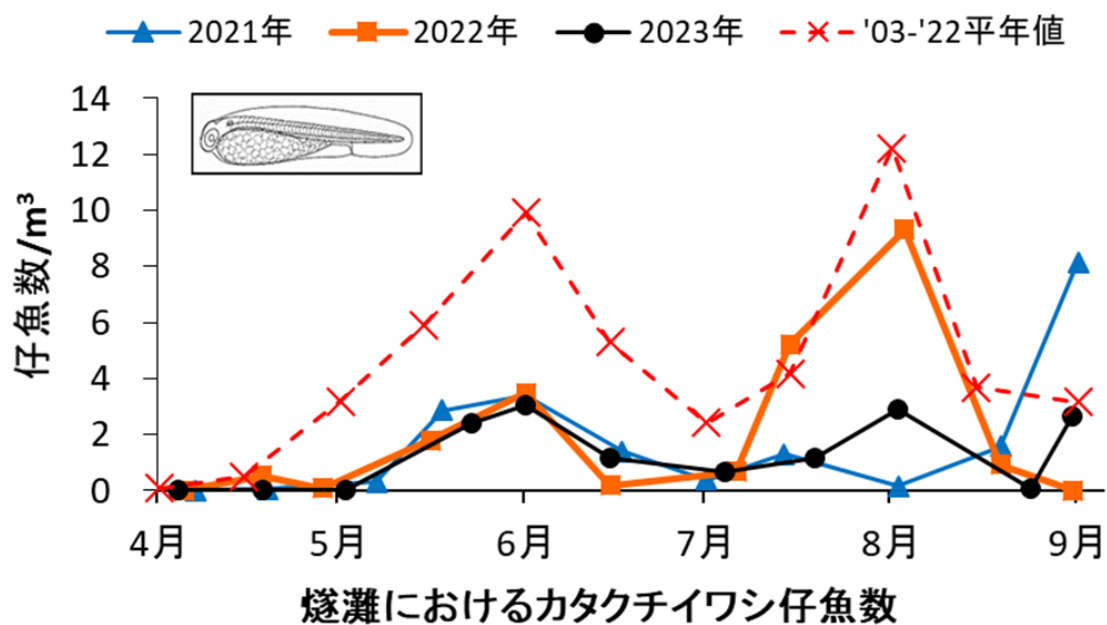
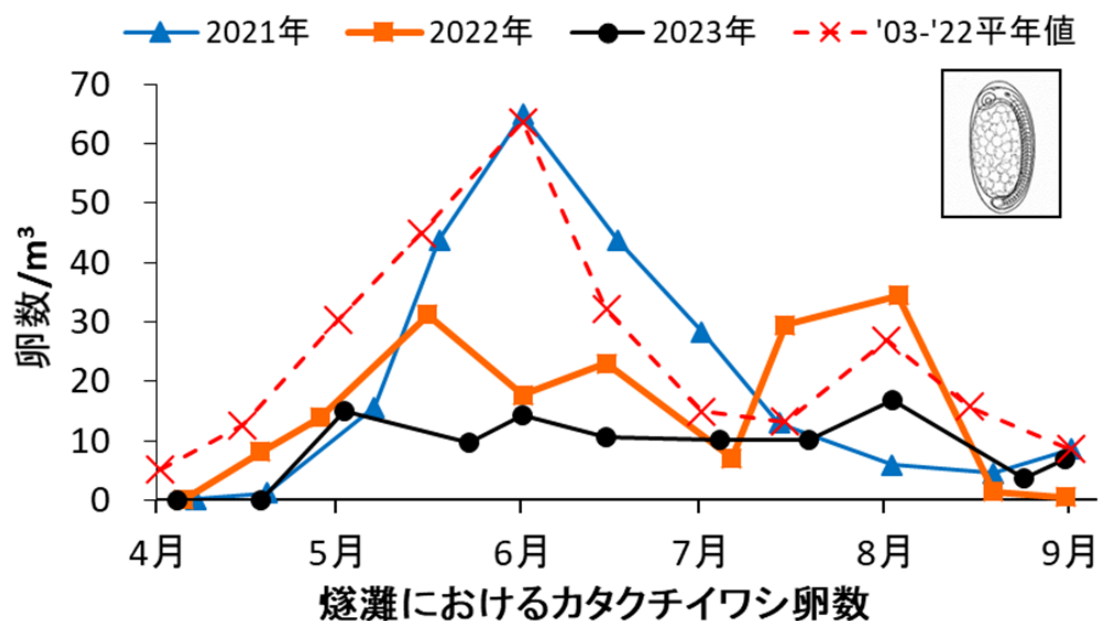


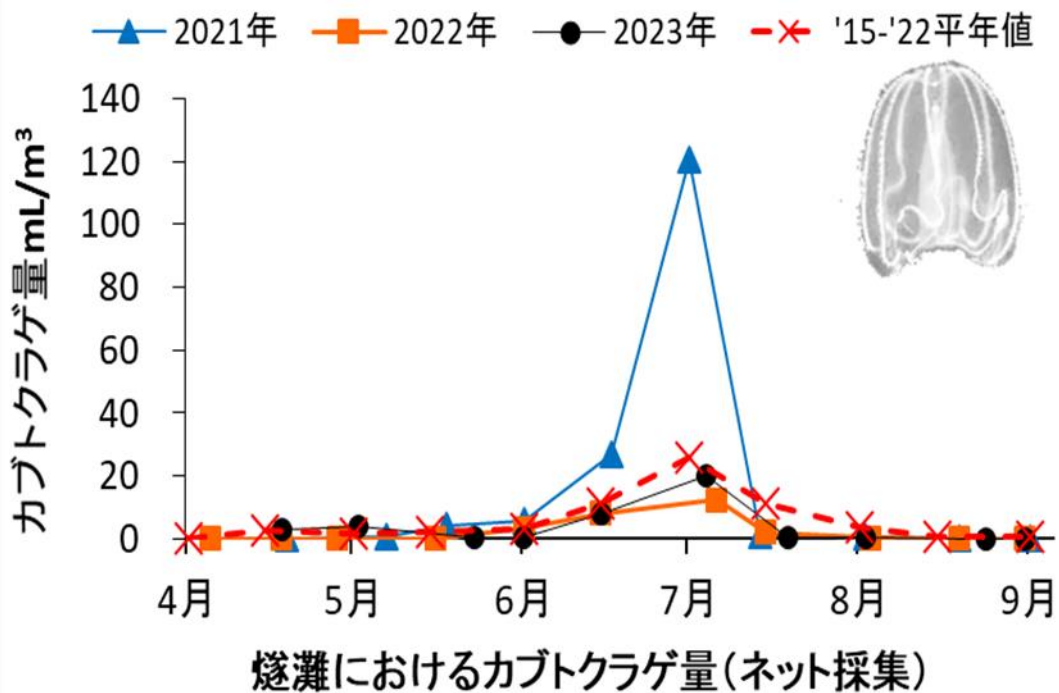
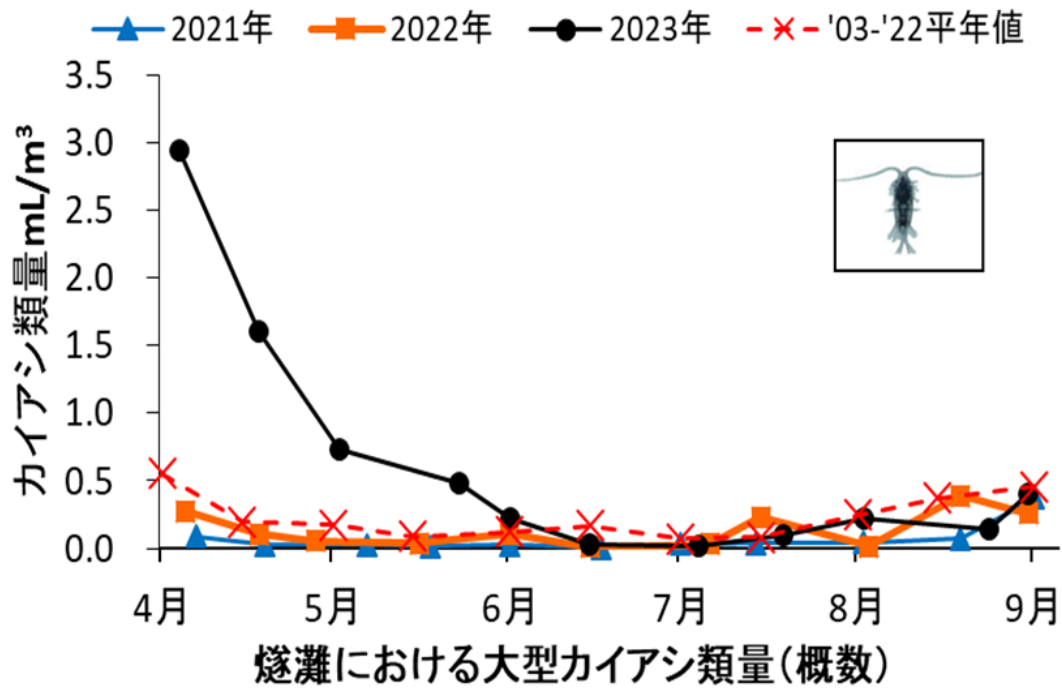
●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を、
下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を、
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。







※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。
 ※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。
 ※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任は負いません。

2023 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(10回目)

調査日: 2023/8/31

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	29.1	34	0	0	5	0	0
H2	20	29.1	19	0	0	3	0	0
H3	20	29.1	22	0	4	25	0	1
H4	20	28.9	19	0	7	11	0	0
H5	20	28.4	15	0	1	2	0	0
H6	20	28.5	2	0	0	1	0	0
H7	20	28.4	18	0	2	1	0	0
平均		28.8	18	0	2	7	0	0

※卵稚仔数は採集数を示す。